

令和4年度小松市立荒屋小学校 学校評価 1 (計画)

めざす児童生徒像

学校教育目標:主体的に考え行動し、共に高め合う児童の育成

めざす児童像 「じ・も・と」で育つ あらやの子  
 じ・・自分で考え 行動する も・・もっと伸びようとする と・・ともに学ぶ 思いやる

※児童生徒結果-教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果(%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
(学校で設定)	学校重点項目 教育目標の実働	各項目80%以上	① 児童は自分で考え、自分で行動しようとしている【じ】						
			② 自分を伸ばそうと努力したり、挑戦したりしようとしている【も】						
			③ 相手を思いやり、協力しながら活動しようとしている。【と】						
			集計						
重点項目 業務の改善	健康で働ける職場	各項目が80%以上	① 60時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。						
			③ 仕事にやりがいを感じている						
			④ 気軽に相談できる環境が整っている						
			⑤ ワークライフバランスが整っている						
小松市共通重点項目	学校研究	各項目が80%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。						
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
			集計						
	指導力の向上	①、⑤の児童生徒の割合が80%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。						
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
			④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。						
			⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの姿を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
			⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。						
			⑦ 児童は、算数の授業で式や図をかくことができている。						
⑧ 児童は、算数の授業で自分の考えを言葉で書くことができている。									
学力の向上	各項目が80%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。							
		② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。							
		③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。							
		④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)							
		集計							
家庭学習	①の項目は90%以上 ②の項目は80%以上	① 家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方を校内で共通理解を図っている。							
		② 学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。							
			集計						